



地域における医療介護総合確保推進の マネジメントに係わる人材養成の研究

経営管理研究科（専門職大学院・MBA）

教授 西田在賢

連絡先 県立広島大学 広島キャンパス 1467号室
Tel 086-251-9768 Fax
E-mail zaiken@pu-hiroshima.ac.jp



専門分野： 医療介護の政策と経営及びそのコンピュータ支援システム

キーワード： 医療介護総合確保推進、地域包括ケアシステム、医療経営持続性

● 現在の研究について

わが国では国民医療費と介護保険総支出費用を合わせると優に 50 兆円を超えており、今後も増え続けて国家予算に比肩していく勢いです。

一方で、人口減少が本格化してくるため、医療介護保障の財政がますます厳しいものとなります。

そのようななかで今後の医療介護保障を持続していくために、国は 2014 年度に地域医療構想に基づく入院体制の見直しと地域包括ケアシステムの構築を図ることを主題とする医療介護総合確保推進法を公布、施行いたしました。

この改革推進で重要となる、医療介護機関の生産性向上の研究や、その成果を実践するための政策や経営管理の人材養成施策について研究を行っております。

● 今後進めていきたい研究について

本学大学院経営管理研究科に着任して、この度 HBMS 地域医療経営プロジェクト研究センターの開設を許可をされてセンター長に就きましたが、同センターでは需要が高まるヘルスケア分野の経営管理専門家と自治体行政管理者が交流するネットワークの構築や同分野のイノベーションに寄与する NPO や NGO の起業家のインキュベーションの機能を果たせるように努めたいと考えております。

● 地域・社会と連携して進めたい内容

HBMS 地域医療経営プロジェクト研究センターを通じて広島県から医療介護総合確保推進関連の事業の受託を試み、また、県内自治体及び医療介護関係者に向けた政策経営研究セミナーを企画・開催したいと考えております。

そしてセンター活動が軌道に乗ったのちには、少子高齢社会の医療介護事業の経営管理人材を養成する先端的研究の場として県内のみならず、全国に情報発信していく役割を担いたいと考えております。

また今後わが国最大規模の産業になると見込まれるヘルスケア分野において、本学 HBMS の存在感を高め、この分野の優秀な社会人たちを受け入れてマネジメント能力を磨く、学び直しの機会を提供できるよう努めたいと考えております。

● これまでの連携実績

本学大学院経営管理研究科には昨年 10 月に着任いたしました。前任校の静岡県立大学大学院経営情報イノベーション研究科では地域経営研究センター長を務めていた時の平成 21 年度から 3 年間にわたり静岡県から「医療経営力向上事業」を委託されて県内 32 の公的病院から延べ 90 余名の幹部が受講する講座を企画運営いたしました。そして続けて 24 年度からの 2 年間は発展型講座を委託され、合わせて 5 年間にわたり医療経営人材養成に携わりました。

この間の平成 25 年には地域経営研究センターから分離発展した医療経営研究センターの開設を認められ、本学着任直前まで同センター長を務めておりました。